公共事業再評価調書

						三 冉評価調					
番号			道路-	- 7	事業	担当局課	道	直路局 建設課			
事業名	市道	五貫	目第3	3 3 号線	(北町地区)	道路整備事	業	採択年度	H20		
施工場所	瀬谷	区北	町地内	<u> </u>				経過年数	6年		
	を 口 3 始 北 に 概要	店ぶ 交差。 で地り	延長お区、おび、慢性	1.9km の区間終 す。残り 谷区北町 的な渋港	の主要な幹線 り1.1kmにつ の区間のうち 「地内)として 『が解消される	道路です。この いては、平成 、海軍道路入1	のうち、国道 19 年度までに 口交差点から 度から事業を i滑化を図りす	2 4 6 号目黒交差 こ現道の拡幅整備 上川井IC方面へ 進めており、本地 ます。	ペスと国道246号 差点から海軍道路入 情が完了し、供用開 へ約800mの区間を 地区を整備すること		
					当	刃(事業採択時	÷)	変 更(平	成 24 年度)		
目的及び		事業	美期間		平成 20 年	⊨度~平成 24	1年度	平成 20 年度	~平成 29 年度		
事業概要	事		合	計	1,	400 百万円		1,800	百万円		
	業		玉	費		770 百万円		990	百万円		
	費		市	費		630 百万円		810	百万円		
	変更	(す) 市 費 630 百万円 810 百万円 変更内容 用地交渉の難航により、事業に多くの時間を要したため事業期間を変更しました。									
	生位等の付	位置け	i に i 今 ら	よる都市 また、本 年度策定 れていま	『基盤の強化』 ☆市の減災対策 ごされた「横海 ミす。	として、都市 きとして 市防災戦略」	計画道路の鬼においても、	を備が位置付けら 「緊急輸送路等 <i>0</i>	ペットワークの充実 れています。 D整備」と位置付け		
	関連事業 環状4号線(上瀬谷地区)道路整備事業を行っています。 事業を巡る 近年、この地域は工場が多く建設されており、環状4号線(上瀬谷地区)の道路整										
	社会組 勢等の		青 備			が多く建設さ 加が予測され		哀状 4 方線 (上隅	(合地区) の直路整		
						事	業全体	列	浅 事 業		
				割	引率		4	1%(2%)			
				総便	益(B)	295 億円	(456 億円)		_		
	事業	きの		総費	用(C)	17 億円	(16 億円)		_		
事 类 の	投資	効果	Ļ	費用便益	比(B/C)	17. 0	(27.7)		_		
事業の必要性				〔交通	文度分析 1量-10%]	14. 6	(23.9)		_		
					特記事項〕	= 1.4 = 1.1= 1.10	11 /2 - 2	\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \			
	В/С	の算	Ĺ						整備を行うことで、時		
	B/Cの算 定 にない		`	間の短縮が図れ、バス利用者等の利便性が向上し、渋滞の緩和にも寄与されます。また、国道16号保土ケ谷バイパスと国道246号の交通が円滑化されることで災害時の緊急輸送路と							
	事業	効果				と国理246号(ル父 囲か円滑	1匹されることで災害	号時の紫急輌透路と		
	残事	娄の		く別未か	期待できます。						
	内内	来の	-	-							
	r 1	4									

	事業進ちょく	率%		
+ * 0	44%			
事業の	用地取得率%	%	明光は幅を行ってわり、子に田	
進ちょく	35%		現道拡幅を行っており、主に用:	地貝収を進めています。
状 況	供用等の状況	兄		
	_			
事業の課題	関係する地権	者との	交渉に時間を要していますが、中で	も整備効果の高い環状4号線(上瀬谷地
及び進ちょく	区) との交差点	付近の	用地買収を重点的に進めています。	今後は、順次交差点工事に着手していき
見込み	ます。			
代替案立案等				
の可能性				
その他				
コスト縮減	_			
項目等				
	委員会年度		意見具申等	意見具申等に対する対応状況
過去の委員会		_		_
からの意見等				
その他	_			
	#1t.)	·圣 h ()	割引声を安払し 1	
			上記計画を実施)※1	
対応方針		見直し	(上記計画を変更)※2	
(案)	<u> </u> 【見ī	直し内	容】	
			中 止	

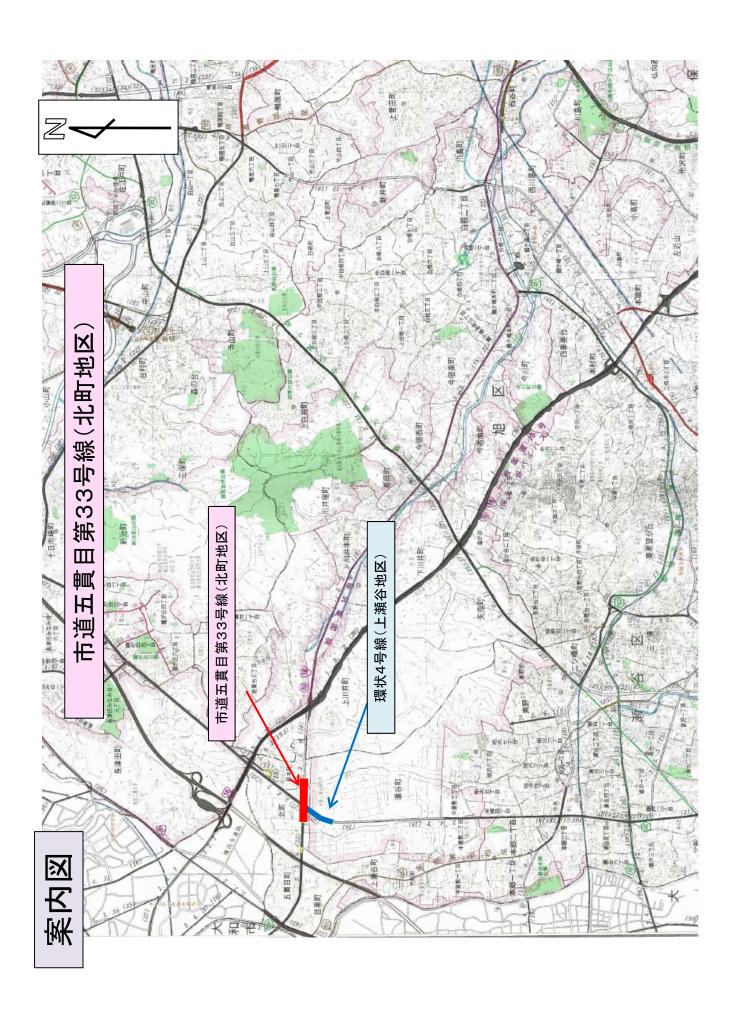
した理由

本事業区間は、バス路線であり、当該工業団地に出入りする大型車両が通行することから、朝夕は 対応方針案と │ 渋滞が発生し、歩行者の安全も脅かされている状況になっています。

> そこで、道路整備により歩行者の安全確保、バス運行の定時制の確保、並びに車両の渋滞解消を図 るため、事業を継続し実施する必要があると判断しています。

※1:既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、 その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2:今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。



環状4号線(上瀬谷地区)

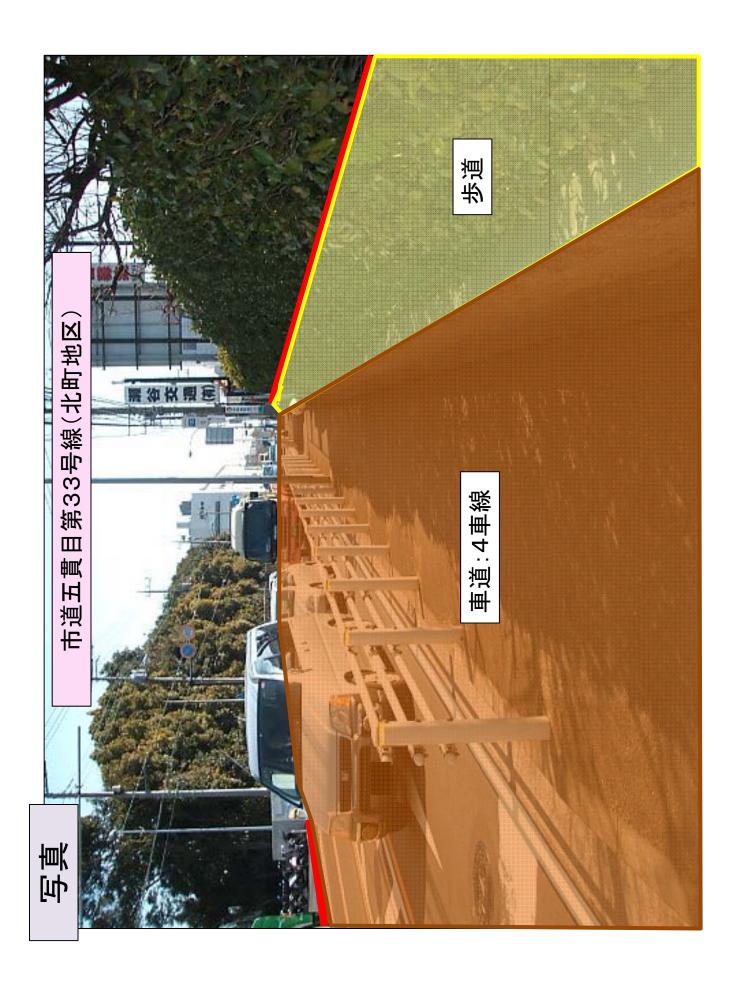
√ 3m

【**←→**】 3m(歩道)

16m(車道)

標準横断図 22m

道路7 - 4



事業進捗状況

市道五貫目第33号線(北町地区)

事業犯	事業進捗状況		市道五貫	五貫目第33号線	号線(北町地区)	.拖区)			
								(単位	(単位:百万円)
Ĥ	اللة	単年度事業費			事業進捗率			用地取得	
十	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(㎡)	累計(㎡)	用地取得率※3
H20	13	0	13	0.7%	%0'0	%2'0	0	0	%0'0
H21	31	0	31	2.4%	%0'0	2.4%	0	0	%0'0
H22	908	308	-	19.4%	16.9%	7.5%	766	992	25.0%
H23	6	0	6	19.9%	16.9%	%0°E	0	992	25.0%
H24	432	425	2	43.9%	40.6%	3.4%	415	1,407	35.4%
二	791	730	61				1,407		

市道五貫目第33号線(北町地区)

